

アンケート設問に関する考え方

高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会	
R8. 5. 28	資料5-1

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプション	市独自 設問	過去からの 継続 △：一部 変更
1	アンケートを記入されたのはどなたですか。	基本項目を把握する。		○	○
2	令和8年1月1日現在の年齢を教えてください。			○	○
3	お住まいの地域を教えてください。			○	○
4	現在、要支援認定を受けていますか。			○	△
5	家族構成を教えてください。	世帯状況や地域分布を把握し、世帯構成別の回答結果より事業の対象者・対象地域・実施内容の検討に活用する。	◎		○
6	普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	要介護状態となる前の高齢者の介護の必要度を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討に活用する。	◎		○
7	介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。	要介護状態になる前の高齢者の介護・介助が必要になった原因を把握し、地域課題を把握する。	○		○
8	主にどなたの介護・介助を受けていますか。	要介護状態になる前の高齢者の介護・介助の実態を把握し、地域課題を把握する。	○		○
9	現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	高齢者の経済状態や地域分布、経済状態別の回答結果を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の際に活用する。	◎		○
10 (1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握し、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討に活用する。 ※ (4) (5) では転倒リスクも把握する。	◎		○
10 (2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。		◎		○
10 (3)	15分位続けて歩くことができますか。		◎		○
10 (4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。		◎		○
10 (5)	転倒に対する不安は大きいですか。		◎		○

一般高齢者アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプション	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
10 (6)	週に1回以上は外出していますか。	閉じこもり傾向のある高齢者の地域分布を把握する。	◎		○
10 (7)	直近1年間とその前年と比べて外出の回数が減っていますか。		◎		△
11	外出を控えていますか。	閉じこもり傾向のある高齢者の原因を把握する。	○		○
12	外出を控えている理由は、次のどれですか。		○		○
13	外出する際の移動手段は何ですか。	高齢者の外出の際の移動手段の実態を把握することにより、地域課題を把握する。	○		○
14 (1)	あなたの住んでいるところから、次の(1)～(6)の目的地までは、行きやすいですか。（移動手段は問いません） かかりつけ医院（診療所・クリニック）	生活関連施設などへの行きやすさの実態を把握し、生活圏における利便性や外出、社会参加のしやすさに関する状況を確認する。		○	—
14 (2)	総合病院			○	—
14 (3)	スーパー・商店			○	—
14 (4)	公共施設（役所、図書館など）			○	—
14 (5)	銀行・郵便局			○	—
14 (6)	サロン・趣味の場			○	—
15	あなたが1人で外出できる範囲はどこまでですか。（移動手段は問いません。）	自力で外出可能な範囲の状況を把握する。		○	△
16	家族・友人等の送迎支援は期待できますか。	送迎を頼れる人の有無とその頼みやすさの程度を把握する。		○	—
17	あなたは、目的地までの移動に公共交通を利用していますか。それは使いやすいですか。	公共交通の利用状況と使いやすさを把握する。		○	—
18	公共交通を「使いにくい」「利用していない」理由を教えてください。	公共交通の利用に至らない要因（背景）を把握する。		○	—
19	あなたがあればよいと思う・利用したいものはどれですか。	必要とされる支援、サービスのニーズを把握する。		○	—

一般高齢者アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプショ ン	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
20 (1)	身長・体重を教えてください。	低栄養の傾向を把握する。	◎		○
20 (2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	口腔機能の低下のうち咀嚼機能の低下を把握する。	◎		○
20 (3)	お茶や汁物などでむせることがありますか。	嚥下機能の低下を把握する。	○		○
20 (4)	口の渇きが気になりますか。	肺炎発症リスクを把握する。	○		○
20 (5)	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）	口腔の健康状態や義歯の使用状況より、地域の歯科医療や口腔機能向上に関するニーズを把握する。	◎		○
20 (6)	定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。	オーラルフレイル予防に関連する行動を把握する。		○	○
20 (7)	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	フレイルの状況を把握する。	○		○
20 (8)	どなたかと食事をともにする機会はありますか。	閉じこもり傾向と孤食の関係性を把握する。	◎		○
21 (1)	物忘れが多いと感じますか。	認知機能の低下している高齢者の地域分布を把握する。	◎		○
21 (2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。（自家用車でも可）	日常生活能力（IADL）を把握する。	◎		○
21 (3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。		◎		○
21 (4)	自分で食事の用意をしていますか。		◎		○
21 (5)	自分で請求書の支払いをしていますか。		◎		○
21 (6)	自分で預貯金のおし入れをしていますか。		◎		○
21 (7)	趣味はありますか。	社会参加の関係性を把握し、社会参加する高齢者の傾向を把握する。	○		○
21 (8)	生きがいがありますか。		○		○
22	現在の生活で困っていることは何ですか。	介護保険サービス以外に必要な生活支援サービスを把握する。		○	△

一般高齢者アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプショ ン	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
23	今後も自分の希望する場所で暮らしていくためには何が必要だと感じていますか。	希望する場所で暮らしていくために何が必要と考えているのかを把握する。		○	○
24	以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ①ボランティアのグループ ②スポーツ関係のグループやクラブ ③趣味関係のグループ ④学習・教養サークル ⑤いきいき百歳体操やサロンなど介護予防のための通いの場 ⑥老人クラブ ⑦町内会・自治会 ⑧収入のある仕事	社会参加活動の状況を把握する。	◎		○
25	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	地域づくりへの参加意向を「参加者として」「お世話役として」の両方の立場における参加の意向を把握する。	◎		○
26	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。		◎		○
27	見守りや介護が必要な人に対してボランティア活動などをしてみたいと思いますか。	今後生活支援サービスを充実させていく上で、担い手となる人が、どの地域にどの程度いるのかを把握する。		○	△
28	どのようなことであればボランティア活動などをしてみたいと思いますか。	担い手となる人のニーズを把握する。		○	△
29	現在のあなたの就労状態はどれですか。	就労状況を把握する。	○		—
30	あなたはいつ引退しましたか。		○		—

一般高齢者アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプション	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
31	あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人。	たすけあいの状況を把握することで、地域のうつ傾向の発生状況を間接的に把握する。	◎		○
32	反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人。		◎		○
33	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。		◎		○
34	反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人。		◎		○
35	現在のあなたの健康状態はいかがですか。	主観的健康観を把握する。	◎		○
36	あなたは、現在どの程度幸せですか。	主観的幸福感を把握する。	◎		○
37	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	うつ傾向を把握する。	◎		○
38	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。		◎		○
39	タバコは吸っていますか。	健康寿命に影響を与える本項目と他項目の関係性を把握し、地域特性を把握する。	◎		○
40	現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	認定をうけていない高齢者の既往を把握し、要介護状態になる原因等の地域課題を把握する。	◎		○
41	治る見込みがない病気になった場合、どこで最期を迎えたいですか。	人生の最終段階に対する考え方を把握する。		○	○
42	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがありますか。			○	○

一般高齢者アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプション	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
43	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	○
44	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合う（人生会議を実践する）時期があるとするれば、いつごろが適切な年齢だと思いますか。（話し合ったことがある人は、いつごろでしたか。）	ACPを実践するのに適切と考える時期を把握する。		○	○
45	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。（話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか。）	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	○
46	あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。	認知症に対するイメージを把握する。		○	—
47	認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。	認知症の方の割合を把握する。	◎		△
48	認知症に関する相談窓口を知っていますか。	認知症に関する相談窓口の認知度を把握する。	◎		○
49	MCI（軽度認知障害）について知っていますか。	MCI（軽度認知障害）の認知度を把握する。		○	○
50	今後、市が認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	認知症に関する今後必要な施策を探る。		○	○
51	介護を受ける場合、どのような場所を希望しますか。	高齢者の介護に対する希望・意向を把握する。併せて施設整備の参考とする。		○	○
52	今後、高齢者の増加に伴い、介護サービスを利用する人の増加が見込まれています。その結果、保険料が高くなる可能性があります。保険料と介護サービスの関係について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。	介護保険サービスと保険料の考え方を把握する。		○	○

一般高齢者アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問 ◎：必須項 目○：オプション	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
53	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて教えてください。	地域の中で介護保険サービス以外の支援・サービスがどの程度利用されているかを把握する。		○	△
54	利用していない理由は何ですか。	介護保険サービス以外の支援・サービスが利用されていない理由とその背景を把握する。		○	—
55	市内に地域包括支援センターがあることを知っていますか。	地域包括支援センターの認知度を把握する。		○	○
56	地域包括支援センターでは以下のような業務を行っていますが、どのような業務内容を知っていますか。	地域包括支援センターの認知だけでなく、業務内容の認知度も把握する。		○	○
57	成年後見制度について制度の概要を知っていますか。	制度の認知度を把握する。		○	△
58	将来の自分について不安なことはどんなことですか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	○
59	成年後見制度を利用した場合、以下のようなことを支援することができますが、どのような内容を知っていますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	○
60	問59の選択指支援をしてくれる成年後見制度の利用についてどのように考えますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを持つ方の、準備についての考え方を明らかにする。		○	○
61	成年後見制度の相談ができる成年後見支援センターが市内にあることを知っていますか。	成年後見支援センターの認知度を把握する。		○	○

アンケート設問に関する考え方

高齢者福祉計画及び 介護保険事業計画策定委員会	
R8.5.28	資料5-1

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
1	勤務先の事業所番号を教えてください	基本項目を把握する。		○	—
2	勤務先の事業所名を教えてください			○	—
3	令和8年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください			○	○
4	介護支援専門員としての経験年数を教えてください			○	○
5	あなたの働き方は、常勤換算で何人ですか			○	—
6	あなたが担当している利用者は何人ですか ※担当人数には、入院等によりサービスの利用がない人も含む ※要支援者は1/3人でカウントしてください			○	—
7	加古川市は要支援1、2、事業対象者の方に対して、自立の3本柱（重度化防止・本人の強み・自己決定）に着目した自立支援に取り組んでいます。高齢者が「元の生活に戻る視点」を新たに加えて取り組んでいることを知っていますか	新たな自立支援の取り組みに関する認知度を把握する。		○	—
8	あなたは、現在「元の生活に戻る視点」を取り入れた支援を行っていますか	元に戻る視点を取り入れた支援の実施状況を把握するとともに、その理由及び背景を把握する。		○	—
9	その理由を教えてください			○	—
10	「元の生活に戻る視点」を取り入れた自立支援に関する研修があれば参加しますか	参加研修意向及びその理由・背景を把握する。		○	—
11	その理由を教えてください			○	—
12	介護保険サービス以外に最も必要だと思うサービスは何ですか	今後整備していく生活支援サービスで、どのようなものを導入していけば良いか把握する。		○	△
13	介護保険サービス以外のサービスで紹介したことがあるものは何ですか	今後整備していく生活支援サービスのうち、現在どのようなものがあるのか把握する。		○	△

介護支援専門員アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの 継続 △：一部 変更
14	介護保険サービス以外の情報をどのように得ていますか	今後整備していく生活支援サービスの情報提供の場としてどのようなものが効果的なのか把握する。		○	○
15	現在、地域資源サイト「かこサーチ」の配信に向け整備を進めています。これが整備された場合、支援に活用しますか	地域資源サイト「かこサーチ」整備後の活用意向を把握する。		○	—
16	利用者が入院した際、情報提供書を病院に送付していますか	入院時の情報提供書の送付の実態を把握する。		○	—
17	送付していない理由は何ですか			○	—
18	情報提供書は入院から2日以内（入院の翌々日まで）に送付していますか			○	—
19	退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか	退院調整等の時に、医療と介護の連携が図れているか現状を把握する。		○	○
20	病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか			○	○
21	退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれていますか			○	○
22	利用者の病状や健康状態について主治医と連絡をとっていますか	医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○
23	あなたが主治医との連携が必要だと思われるケースでは、実際に主治医と連携が図れていますか			○	○
24	連携が図れていない主な理由は何ですか	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
25	利用者の服薬管理などについて薬局（薬剤師）と連携が図れていますか	薬局（薬剤師）と連携が図れているか現状を把握する。		○	○
26	連携が図れていない主な理由は何ですか。	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○

介護支援専門員アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
27	利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい職種・機関はどこですか。	連携強化を希望する職種や機関を把握する。		○	○
28	家庭内における高齢者虐待を疑う事例を経験（担当）したことがありますか。	高齢者虐待について、どれくらいの介護支援専門員が経験をしているのか現状を把握する。		○	○
29	今までに高齢者虐待を疑う事例に出会ったとき、市や地域包括支援センターへ相談（通報）しましたか。	高齢者虐待を疑う事例については、市や地域包括支援センターへ通報する義務がありますが、どの程度通報されているのか現状を把握する。		○	○
30	相談（通報）しなかった理由は何ですか。	通報しなかった理由を把握することで、今後の市や地域包括支援センターの在り方などを検討する一つの材料とする。		○	○
31	高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。	高齢者虐待への対応として、市や地域包括支援センターとの連携に介護支援専門員が何を求めているのかを把握する。		○	○
32	認知症高齢者の支援において、困っていること（困ったこと）はありますか。	今後増加が予測される認知症高齢者について、介護支援専門員が何に困っているのか現状を把握する。		○	○
33	認知症高齢者への支援で必要なことはどのようなことだと思いますか。	介護支援専門員の視点から、認知症高齢者の支援について何が必要と感じているのかを把握する。		○	△
34	今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	介護支援専門員の視点から、市に求められているものが何かを把握する。		○	△
35	加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか。	認知症施策の一環として平成25年度より各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置しているが、その認知度を把握する。		○	○
36	成年後見制度の相談ができる成年後見支援センターが市内にあることを知っていますか。	成年後見支援センターの認知度を把握する。		○	○
37	あなたの担当している利用者の制度等の利用状況を教えてください。	成年後見制度に対する潜在的なニーズ（特に量的側面）を把握する。		○	△
38	あなたの担当している利用者で成年後見制度を利用したほうが良いと思う人について教えてください。	成年後見制度に対する潜在的なニーズ（特に量的側面）を把握する。		○	△
39	利用したほうが良いと思う理由について教えてください。	専門職がどのような点から成年後見制度の利用を考えるきっかけとなったかを把握する。		○	○

介護支援専門員アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
40	成年後見制度を利用をすべきであるが、利用に至らない理由は何ですか。	潜在的な需要が利用につながらない要因を把握する。		○	○
41	(別のサービス、制度などにより対応できている場合) 別のサービス、制度を具体的に教えてください。			○	○
42	高齢者が在宅での生活を続けるために必要なことはどのようなことだと思いますか。	介護支援専門員の視点から、在宅介護で必要なことが何かを把握する。※看取りに関わったことがある介護支援専門員の回答とクロスさせる。		○	○
43	在宅での看取りに関わった経験がありますか。	看取りに関わったことがある介護支援専門員数を把握する。		○	○
44	在宅で看取りをするために連携できる医師がいますか。	医師との連携状況を把握する。		○	○
45	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか。	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	○
46	ACPを利用者に対して実施したことがありますか。	ACPの経験・浸透度合を把握する。		○	○
47	もし、家族や医療介護関係者等と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか。 (話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか)	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	○
48	ケアプランニングの中でACPを実践できますか。	通常業務の中にACPを組み込むことが可能か把握する。		○	○
49	ACPが実践できない（難しい）と思う理由は何ですか。			○	○
50	あなたは、市役所の高齢者支援課で在宅医療・介護連携について相談できることを知っていますか。	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	○
51	あなたは「在宅医療・介護連携推進事業」として、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。	在宅医療・介護連携推進事業の今後の施策展開の参考とする。		○	○

アンケート設問に関する考え方

高齢者福祉計画及び
介護保険事業計画策定委員会

R8. 5. 28

資料5-1

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
事業所代表者（管理者等）への設問					
1	事業所番号を教えてください	基本項目を把握する。		○	—
2	事業所名を教えてください			○	—
3	令和8年1月1日現在、事業所に従事している訪問看護師は何人ですか			○	○
4	令和7年12月の1ヶ月で何人の利用者を受け入れましたか	事業所の体制（状況）に関する設問		○	○
5	令和5年から令和7年の間の職員採用数は何人ですか			○	○
6	令和5年から令和7年の間の職員離職者数は何人ですか			○	○
7	離職の主な理由は何ですか			○	○
8	現在の看護職員数で、新規の利用者を受け入れる余裕がありますか			○	○
9	現在、貴事業所では24時間対応の体制をとっていますか			○	○
10	年間看取り数を教えてください			○	○
11	病院における退院前カンファレンスが開催される時には、参加していますか			○	○

各訪問看護師への設問					
1	勤務先の事業所番号を教えてください	基本項目を把握する。		○	—
2	勤務先の事業所名を教えてください			○	—
3	令和8年1月1日現在のあなたの年齢を教えてください			○	○
4	現在の勤務形態を教えてください			○	○
5	あなたの臨床での経験年数を教えてください			○	○
6	訪問看護師としての経験年数を教えてください			○	○
7	退院支援や調整をする中でどのようなことに困りましたか	退院調整等の時に、医療と介護の連携が図れているか現状を把握する。		○	○
8	医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがありますか			○	○
9	退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれていますか			○	○
10	支援の過程で緊急時に主治医と連携を図る必要がある場合、連携が図れていますか	緊急時の医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○

訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの 継続 △：一部 変更
11	連携が図れていない主な理由は何ですか	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
12	利用者のケアプランなどについて居宅介護支援専門員と連携が図れていますか	医療と介護の連携の現状を把握する。		○	○
13	連携が図れていない主な理由は何ですか	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
14	利用者の服薬管理などについて薬局（薬剤師）と連携が図れていますか	薬局（薬剤師）と連携が図れているか現状を把握する。		○	○
15	連携が図れていない主な理由は何ですか	医療と介護の連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
16	利用者の在宅での生活についてホームヘルパーと連携は図れていますか	ホームヘルパーと連携が図れているか現状を把握する。		○	○
17	連携が図れていない主な理由は何ですか	連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
18	利用者の在宅での生活について地域包括支援センターと連携は図れていますか	地域包括支援センターと連携が図れているか現状を把握する。		○	○
19	連携が図れていない主な理由は何ですか	連携の障壁となっている要素を把握する。		○	○
20	今後、医療機関との連携を図るために必要なことは何だと思えますか	関係機関との連携について、訪問看護師が求めているものが何かを把握する。		○	○
21	利用者の在宅生活を支えるために連携を強めたい職種・機関はどこですか	在宅生活を支えるにあたり、連携強化が必要な職種等を把握する。		○	○
22	在宅での看取りを担当したことはありますか	在宅での看取りを行うにあたっての現状を把握する。		○	○
23	在宅での看取りに対して、訪問看護師として不安や負担を感じたことはありますか			○	○
24	どのようなことに不安や負担を感じましたか			○	○
25	利用者が在宅で最期を迎えたいという意思がある場合は、連携できる医師がいますか	在宅医療に取り組む医師と訪問看護師の関係を把握する。		○	○
26	在宅医療を利用しやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか	在宅医療の利用促進のため、訪問看護師が求めているものが何かを把握する。		○	○
27	あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、人生会議）について、知っていますか	ACP（人生会議）の認知度を把握する。		○	○
28	ACPを利用者に対して実施したことがありますか	ACPの経験・浸透度合を把握する。		○	○

訪問看護事業所及び訪問看護師アンケート設問について

設問 番号	設問	考え方	国 設問	市独自 設問	過去からの継続 △：一部 変更
29	もし、家族や医療介護関係者等の方と医療・療養について話し合うきっかけがあるとすれば、どのような出来事だと思いますか（話し合ったことがある人は、何がきっかけでしたか）	ACPを実践する際、何がきっかけとなりうるかを把握する。		○	○
30	ケアを提供する中でACPを実践できますか	通常業務の中にACPを組み込むことが可能か把握する。		○	○
31	ACPを実践できないと思う理由は何ですか			○	○
32	あなたは、市役所の高齢者支援課で在宅医療・介護連携について相談できることを知っていますか	在宅医療・介護連携推進事業の認知度を把握する。		○	○
33	あなたは「在宅医療・介護連携推進事業」として、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか	在宅医療・介護連携推進事業を普及するために、訪問看護師が求めているものが何かを把握する。		○	○
34	今後、認知症施策を進めていくうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか	訪問看護師の視点から、市に求められているものが何かを把握する。		○	△
35	加古川市では、認知症の人や家族を支援するために、市内の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置していますが、知っていますか	認知症施策の一環として平成25年度より各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置しているが、その認知度を把握する。		○	○
36	成年後見制度について制度の概要を知っていますか。	成年後見制度に対する潜在的なニーズを把握する。		○	○
37	成年後見制度の相談ができる成年後見支援センターが市内にあることを知っていますか	成年後見支援センターの認知度を把握する。		○	○
38	あなたの担当している利用者の制度等の利用状況を教えてください	成年後見制度に対する潜在的なニーズ（特に量的側面）を把握する。		○	△